

第3学年 国語科学習指導案

令和元年9月18日(水) 第6校時

3年1組 児童34名 指導者 田畑 咲恵

1 単元名 働く犬リーフレットを作って2年生に紹介しよう

「もうどう犬の訓練」(東京書籍 3年下)

「調べよう働く犬たち」シリーズ (ポプラ社)

「ことばのきまり(要約のし方)」(ことばのきまり研究委員会)

2 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、2年生までに大事な言葉や文に気を付けながら文章を読み、他の本などを読んで調べたことをまとめることに取り組んできた。また、3年生では「自然のかくし絵」の教材で、段落ごとの内容を捉えながら文章を読むことに取り組んできた。児童は、文章の中から、キーワードとなる言葉を見付けたり、説明文を読み解く手がかりとなる「問い」と「答え」に着目したりしながら大体的内容を読み取ることを学習している。しかし、学習の定着に個人差が見られ、読み取る力が不十分な児童も多く見られる。また、大事な言葉に着目したうえで、文章の中から目的や必要に応じて情報を収集し、集めた情報を必要に応じて短くまとめる力はまだ不十分である。

4月実施の標準学力調査では、「読むこと」の領域の正答率は、全国平均値を大きく上回っている。しかし、これまでの学習内容が十分に定着している児童と定着が不十分である児童が二極化しているのが現状である。特に、問題の内容別に正答率を見ていくと、「せつ明文の内ようを読みとる」に関する問題に課題が見られ、国語の学力調査の中では学年内で最も正答率が低かった。このことから、文章を正確に読み取る力や、中心となる言葉や文をおさえる力が不十分であると考えられる。

(2) 単元観

本単元は働く犬について調べたことをリーフレットにまとめ、2年生に紹介する活動を設定する。犬は児童にとって親しみやすい動物である一方、働く犬として活躍するまでの訓練の過程については知らないことが多く、興味関心をもって活動に取り組むことができると考えられる。リーフレットにまとめるためには、限られた紙面の中で伝えたい内容をどのようにまとめるか考え、中心となる言葉や文を見つけて要約することが必要となる。

教材文「もうどう犬の訓練」は盲導犬の訓練についてその定義や役割、訓練の段階を順序立てて説明した文章である。段落のまとまりがはっきりしており、大事な言葉や文を見つけやすく、段落ごとの内容を捉えやすい。それに比べて、図書館資料「調べよう働く犬たち」シリーズは、情報量が多く内容の構成や中心文を読み取ることが難しい。しかし、この活動を通して、多くの本や資料から適切な情報を選ぶ力や、選択した情報を要約する力を身に付けることができると考えられる。また、2年生に紹介するという事では、相手を意識した、分かりやすい説明の仕方を学ぶこともできると考える。

(3) 指導観

中心となる文や語を見つけるためには、「〇〇犬はどんな犬か」「訓練では何をやるか」などの問いの答えとなる部分を見つけたり、理由や例を省いたりするなどの視点が必要となる。共通教材を使って要約に必要な技能(①大事な語や文を見つける→②けずる→③付け足す④書き換える)を学び

取り、要約の術として共有できるようにしたい。

第一次では、1学期に見学で訪れたオーテピアにある盲導犬のトイレの写真を見せ、働く犬に興味を持たせたい。どんな訓練を経て働く犬になるのかを調べ、分かったことをリーフレットにまとめて2年生に伝えるという言語活動のゴールを示す。大切なことを簡潔に伝えることができるリーフレットの特徴を知り、要約が必要であることをつかませる。

第二次では、共通教材を読んで盲導犬はどんな犬か、訓練では何をするかを要約したり、写真や絵と言語を結び付け要点を伝えたりする仕方を学び、その知識を活かして自分の選んだ犬のリーフレット作りをする。要約の仕方を理解する活動と、理解したことを使う活動を近づけることで、学ぶことの意味が感じられる展開としたい。また、要約する過程でグループの友達と話し合ったり、吟味したりする活動を通して学びを確かなものにした。

第三次では他グループの友達や2年生にリーフレットを紹介し、質問や感想などのやりとりを行う活動を通して、要点が伝わったか確かめることができると思う。また、この活動を通して、自己の見方や考え方の高まりに気付かせたい。

本時は、盲導犬の始めの訓練「人間の言うことにしたがう訓練」について要約する。これまでに「ことばのきまり」などの学習で身に付けた中心段落・中心文を見付け、短くまとめるなどの要約の仕方だけでは正確に伝えることができないこともあることに気付かせ、①（言葉を）付け足す、②文末を書き換えるなどの仕方があることを学ばせたい。それらを「要約のじゅつ」としてまとめることで、自分の紹介したい犬の訓練を要約する際にも、考えの手掛かりとさせたい。

3 単元の目標

- 目的に応じて文章の中心となる語や文を見つけ内容を要約し、リーフレットを作ることができる。
- 働く犬に関心を持ち資料を読んでリーフレットを作るために必要な情報を見つけることができる。

～はりまや橋小学校 「学校図書館の活動を通してつきたい力系統表」より～
【情報の読み取り】情報からわかったことや解決したこと、考えたことなどについて構成を工夫して文章、絵、図表、写真、グラフ、地図などを使ってまとめる。

4 重点指導事項

【C(1)ウ】リーフレットを作るという目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現 【C 読むこと】	主体的に学習に取り組む態度
○接続語や指示語の役割、問いと答えといった段落の役割を理解して読んでいる。 【(1)カ】	○リーフレットを作るという目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 【C(1)ウ】	○「働く犬」の図書資料を読んで要約し、リーフレットにまとめようとしている。 ○要約が2年生に伝わっているか考えながら紹介しようとしている。

6 学習指導

次	時	学習内容	評価			
			知・技	思判表	態度	評価規準【評価方法】
一	1・2	○学習の見通しを立てる。 ・「オーテピア」に設置されている犬専用のトイレの写真から、働く犬がいることを知る。 ・働く犬をリーフレットにまとめ、2年生に紹介するという見通しをもつ。 ・紹介する犬を選ぶため、図書館資料「調べよう働く犬たち」シリーズを読む。	○			働く犬リーフレットを作るために図書資料を読んでいる。 【行動観察・ふりかえり】
二	3・4	○文章の構成を捉える。 ・「もうどう犬の訓練」を読んで「はじめ」「中」「おわり」の文章の構成を捉える。 ・自分の選んだ本を読んで文章の大まかな構成を捉える。	○			接続語や指示語の役割、問いと答えといった段落の役割を理解し、文章をまとまりに分けている。【ノート】
	5	○要約の仕方を考える。 ・「ことばのきまり」などを使って、中心となる文や言葉を見つけたり、例や理由、くわしい説明を省いたりする仕方を考える。		○		中心となる語や文を見付けて要約している。【ことばのきまり】
	6	○どのような訓練があるのか考える。 ・どのような犬かを考える。 ・訓練はいくつあるか読み取り、見出しを書く。「もうどう犬の訓練」→「調べよう働く犬たち」		○		訓練がいくつあるのか読み取り、見出しを付けようとしている。【リーフレット】
	7 (本時)	○「人間の言うことにしたがう訓練」について要約する。 ・5段落～8段落を読んで中心段落・中心文を見つけ、訓練では何をするか要約する。 ・「調べよう働く犬たち」を読んで考える。		○		中心文を見付けて言葉を付け足したり、文末を書き換えたりする要約の仕方を理解している。【ふりかえり】
	8	○「人を安全にみちびく訓練」について要約する。 ・9段落～12段落を読んで中心段落・中心文を見つけ、訓練では何をするか要約する。 ・「調べよう働く犬たち」を読んで考える。		○		中心文を見付け、「人を安全にみちびく訓練」について要約している。【リーフレット】
	9	○「もうどう犬にふさわしい心がまえ」や「仕上げの訓練」について要約する。 ・13段落～15段落を読み、中心文を見付け、要約する。 ・「調べよう働く犬たち」を読んで考える。		○		中心文を見付け、「もうどう犬にふさわしい心がまえ」「仕上げの訓練」について要約している。【リーフレット】

	10	○絵と吹き出しを使って訓練の様子をより分かりやすく伝えるための工夫を考える。 ・教科書や資料から、写真や絵、イラストなどを選び、吹き出しを使って訓練の様子を伝える。 「もうどう犬の訓練」→「調べよう働く犬たち」	○	写真や絵，イラストなどを使って訓練の様子をまとめている。 【リーフレット】
	11	○犬の訓練で一番伝えたい文（ベストワン）を選び要約する。 ・教科書や資料から、驚いたことや初めて知ったことなど、一番伝えたいことを選び要約する。 「もうどう犬の訓練」→「調べよう働く犬たち」	○	自分の選んだ犬の訓練について一番伝えたい文章を要約している。 【リーフレット】
	12	○リーフレットを仕上げる。 ・グループの友達と要約の仕方について意見を交流しながらリーフレットを仕上げる。	○	図書資料を読んでリーフレットにまとめようとしている。 【リーフレット】
三	13	○他のグループの友達とリーフレットを読み合い、推敲する。 ・他のグループの友達にリーフレットを読んでもらい、訓練の仕方が伝わるか確かめる。 ・リーフレットを推敲して仕上げる。	○	よりよい要約の仕方について友達と考えを交流している。 【行動観察・振り返り】
	14	○2年生にリーフレットを紹介する。 ・2年生にリーフレットを紹介し、質問に答える。 ・学習の振り返りをし、交流する。	○	自分の要約が相手に伝わっているか確かめながら紹介している。 【行動観察・振り返り】

7 本時の学習（本時 7/14）

(1) 本時の目標

- 「人間の言うことにしたがう訓練」について書かれた文章を読んで、中心文の見つけ方や要約の仕方を理解する。

(2) 本時の評価規準

読 「人間の言うことにしたがう訓練」について書かれた文章を読んで、中心文を見つけて言葉を付け足したり、文末を書き換えたりする要約の仕方を理解している。

(3) 達成基準（ルーブリック）

A	B
中心文を見つけて言葉を付け足したり、文末を書き換えたりする要約の仕方を理解し、それを活かして自分が選んだ本についても考えている。	中心文を見つけて言葉を付け足したり、文末を書き換えたりする要約の仕方を理解している。

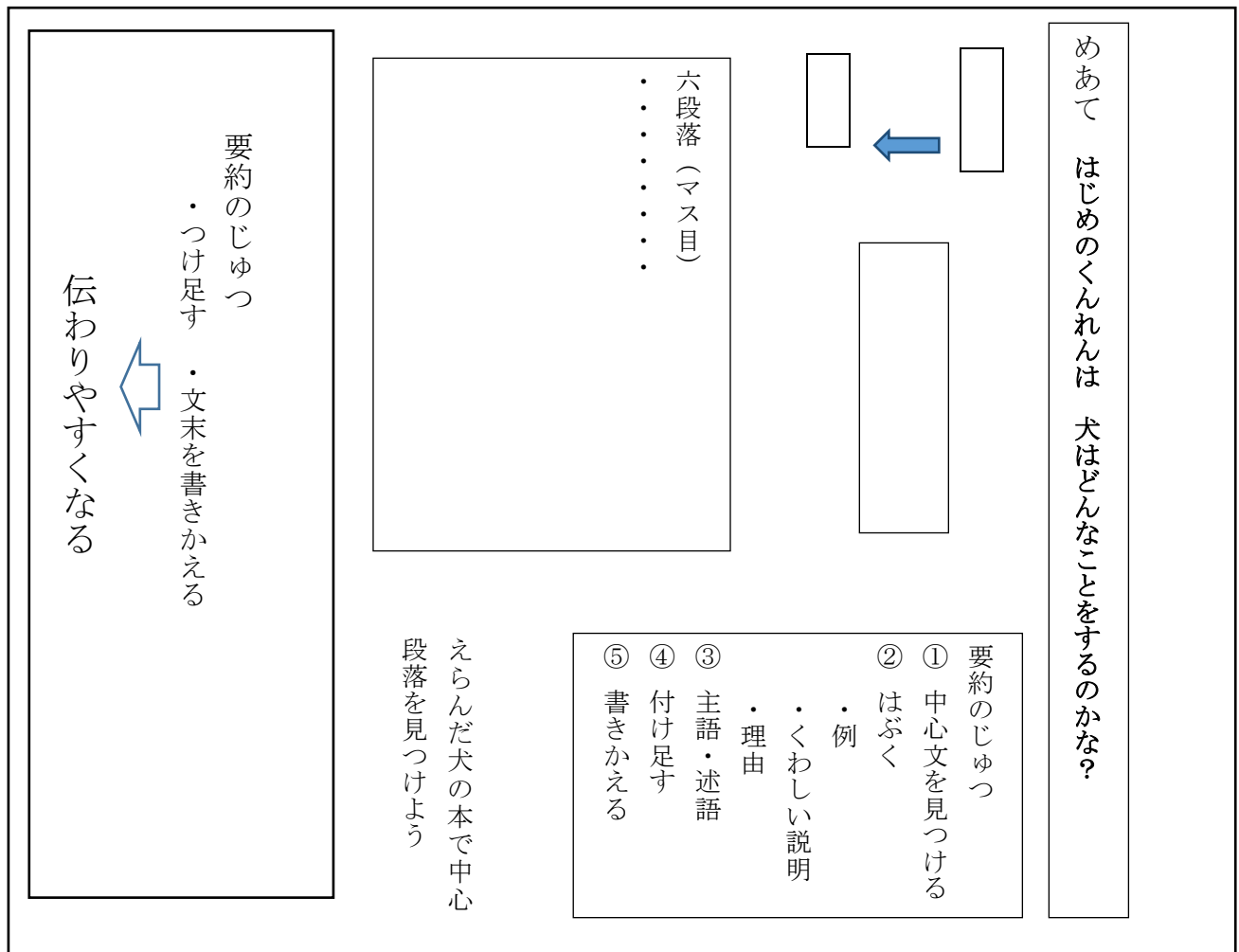
(4) 準備物

はたらく犬の本 リーフレット マス目用紙（児童用・拡大）振り返りシート 電子黒板

(5) 本時の展開

	主な学習活動 [学習形態] ・予想される児童の反応	○指示・支援等 □評価規準【評価方法】 ★支援を要する児童への手立て
つかむ	1 前時の学習を振り返る。	○これまで学習してきたことを確認させる。
	2 本時の学習の課題をつかむ。	
	はじめのくんれんは、犬はどんなことをするのか？	
	・要約するとよいことに気付く。	○これまでに学んだ要約の術を思い出させる。
学び合う	3 「人間の言うことにしたがう訓練」はどんな訓練なのか、要約する。	○5～8段落に一つ目の訓練について書かれていることを確認させる。 ○「訓練では犬は何をするのか」という問いに対する答えを見つけさせる。 ○マス目の用紙を使って短くまとめることを意識させる。 ○中心段落（6段落）の、一文目は「カム」や「ダウン」などの具体例を示していることに着目させる。 ○「英語」で命令を行うなど、盲導犬の訓練を説明するうえで重要な情報は必要に応じて「付けたす」ことに気付かせる。 ○文末は「書き換える」ことに気付かせる。
	(1) 5段落～8段落を読んで、中心段落、中心文を見つける。 ・ペア ・全体	
	(2) 中心文を要約する。	
まとめる	4 自分の選んだはたらく犬の訓練が書かれた部分を読んで、中心段落を見つける。 ・グループ	○要約の術を活かして中心段落や中心文を見つけさせる。 ○中心となる段落や文を選んだ理由を話すようにさせる。
振り返る	5 学習の振り返りをする。	○できるようになったこと、わかったことについて振り返らせる。 読 中心文を見つけて言葉を付け足したり、文末を書き換えたりする要約の方法を理解している。 【振り返り】

(6) 板書計画



(7) 評価の視点（はりまや橋小学校授業づくりスタンダードより）

- ① 付けた力が身に付いた問題・活動内容
- ② 問題解決に至る明確な道筋・ゴール
- ③ 目標達成に向けてつながりと一貫性のある展開・指導
- ④ **対話と協働が学びに効果的に働く学習活動（本時重点目標）**
- ⑤ 自己変容を目標に沿って認知できる評価活動